

4区のつながり さらに強く

6/10

飯樋4行政区の「合同レクリエーション大会」が飯樋町の柔剣道場で行われ、4行政区の住民ら約400人が参加し、レクリエーションや懇親会を通して交流しました。

この大会は、4行政区住民の交流を目的に、飯樋4区連合（北山文子委員長）が5次総「つながりプラン」の補助を受けて取り組んだもので、開催に当たっては4行政区の代表者らによる実行委員会（愛澤文良委員長・12行政区長）を組織し、昨年度から準備を進めてきました。

大会では、地区対抗の玉入れや安全運転、子どもたちに



▲4つのビール箱の上に何人乗れるかというルールで行う満員電車

飯樋4区合同レクリエーション大会



▲トーナメント方式で行った縄もじり



▲合同懇親会の様子

▲子どもたちとお年寄りたちによる玉入れ

よる宝拾いのほか、昨年の「立村50周年記念祭」でも行われた縄もじりや満員電車など計6種目を実施。結果、前田・八和木行政区が優勝しました。

大会後には同会場で合同懇親会も行われ、参加者らは和やかな雰囲気の中で楽しく親睦を深めていました。

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



飯樋小が9種目で1位

6/6

小学校陸上競技大会

村教育研究会（新井川美千枝会長・白石小校長）が主催する「村内小学校陸上競技大会」がスポーツ公園総合グラウンドで行われ、村内小学校の6年生（一部5年生も含む）80人が出場しました。

好天に恵まれたこの日、児童らは100m走や80mハードル走、ソフトボール投げ、走り高跳びなど男女各7種目、計14種目で記録を競いました。

このうち男子1000メートル走では大会記録に3秒、男子4×100mリレーでは大会記録に1秒迫る好記録が出ました。大会成績は次のとおりです。（各種目3位まで）



▲女子100m走

男子

100m走				
1位	高橋 亮一	飯樋	14"1	
2位	原田 朋	草野	15"1	
3位	高橋 玲央	飯樋	15"2	
80mハードル走				
1位	手渡 滉治	飯樋	14"8	
2位	松下 凌	草野	15"2	
3位	佐藤 匠	草野	15"8	
1000m走				
1位	小林 洋輝	飯樋	3'22"3	
2位	坂井 凌	飯樋	3'40"1	
3位	菅野 大樹	飯樋	3'43"5	
走り幅跳び				
1位	小林 洋輝	飯樋	4m22	
2位	高橋 亮一	飯樋	4m06	
3位	坂井 凌	飯樋	3m90	
走り高跳び				
1位	菅野 佑樹	飯樋	1m14	
2位	原田 朋	草野	1m05	
3位	一刀 駿	飯樋	1m00	
ソフトボール投げ				
1位	大内 優輝	草野	40m41	
2位	高橋 敏	飯樋	39m78	
3位	手渡 滉治	飯樋	39m59	
4×100mリレー				
1位	飯樋	小林 洋輝 佐藤 綱平 廣野 嶺 高橋 亮一	58"0	
2位	草野		1'00"2	
3位	白石		1'07"7	

女子

100m走				
1位	佐藤 悦子	草野	15"3	
2位	石井 美咲	飯樋	16"3	
3位	渡邊 菜央	飯樋	16"5	
80mハードル走				
1位	小林 希美	飯樋	15"4	
2位	佐野真菜美	白石	16"5	
3位	大谷 莉加	飯樋	16"6	
800m走				
1位	佐藤ちひろ	草野	2'53"1	
2位	森永 美里	飯樋	3'02"4	
3位	嶋原明沙茄	飯樋	3'08"9	
走り幅跳び				
1位	嶋原明沙茄	飯樋	3m43	
2位	森永 美里	飯樋	3m33	
3位	石井 美咲	飯樋	3m10	
走り高跳び				
1位	小林 希美	飯樋	1m11	
2位	大谷 莉加	飯樋	1m11	
3位	佐藤ちひろ	草野	1m05	
ソフトボール投げ				
1位	佐藤 悦子	草野	28m25	
2位	菅野 琴水	草野	25m27	
3位	佐野真菜美	白石	22m85	
4×100mリレー				
1位	草野	伏見りか子 高橋 唯 菅野 真紀 佐藤 悦子	1'03"0	
2位	飯樋		1'03"9	
3位	白石		1'07"9	



▲男子走り幅跳び



▲男子ソフトボール投げ



▲男子走り高跳び

各行政区で「農地・水・環境保全 向上対策」スタート

5/27

比曽では花を植栽

今年度からスタートした農地・水・環境保全向上対策。この事業は、地域内の農地及び農業用水の資源などの環境保全を目的に、各行政区が地域資源保全会を組織し、今年度は県の地域協議会から計7521万7080円の補助金を受けて目的達成に向けた取り組みを実施することになっています。対策事業には基礎部分、農地水向上活動、農村環境向上活動の3種類があります。



▲プランターに花を植え替える地区住民ら

菅野区長）では、農村環境向上活動として子供会育成会を中心にマリーゴルドの植栽を行いました。

この日は菅野会長宅のビニールハウスで、20人の参加者がマリーゴルドの苗をポットからプランターへ植え替える作業をしました。

この日植え替えたマリーゴルドは6月から道路沿いなどに並べられ、地域内の美しい景観整備とともに、通行するドライバーや歩行者に安らぎを与えています。

家庭で、学校で



▲手作りの弁当を味わう子どもたち(草野小2年)

「早ね・早おき・朝ごはん運動」事業の一つとして「弁当の日」が実施され、村内小学校の子どもたち全員が手作りの弁当を持って登校しました。

「弁当の日」は、子どもたちが自分で弁当を作ることによって、親に対する感謝の気持ちや食べ物へのありがたみを感じてもらおうと実施したものです。

このうち佐藤賢二さん(深谷)のお宅では、ちひろさん(6年)、ちさきさん(4年)、ちさとさん(3年)が、姉妹そろって弁当作りをしました。いつもより早起きして弁当を作り始めたちひろさんたち



▲弁当をつめる佐藤さん姉妹(左から ちさとさん、ちさきさん、ちひろさん)

は、熊の形のおにぎりを作ったり、全体の色取りを考えながらおかずを次々と弁当箱へ詰めていきました。弁当を作り終えたちひろさんたちは「思ったより大変で、親の苦労が分かりました。でも楽しかったです」と満足気でした。また、母の博美さんは「おかずの内容を考えるのは難しく、そしていつもより忙しい朝でした。改めて給食のありがたみを感じました」と話していました。

この日の給食時間、弁当を食べる子どもたちの顔はちよつと得意気で、教室中にはおいしい笑顔が広がっていました。「弁当の日」は、各学期に1回ずつ実施していく予定です。

第1部(前田・八和木)が優勝!



▲真剣な表情で競技に挑む選手たち

6/24 村消防団操法大会

「第10回飯館村消防団消防操法競技大会」が飯館町の村民グラウンドで行われ、参加した消防団員が日頃の訓練成果を競いました。この大会は、消防団員の消防操法の基礎を磨き、消防技術の向上及び消火活動の円滑な遂行と火災防ぎよ体制の確立・強化を図ることを目的に、村消防団が毎年開催しています。

今年大会に出場したのは、小型ポンプ操法の部に第2分団の10チームと、ポンプ車の部に第2分団機動部1チームの計11チーム。競技に先立ち開会式が行われ、荒団長と菅野村長があいさつした後、来賓の北原村議会議長から祝辞が述べられました。続いて、出場選手を代表し第2分団第2部(大久保・外内)の指揮者・赤石澤典彦団員が力強く選手宣誓をしました。

- 大会結果(敬称略)
- 優勝 第1部(前田・八和木)
指揮者・渡辺 武志
1番員・小林 幸一
2番員・小林 浩二
3番員・高橋 美文
補充員・森永 栄隆
- 2位 第4部(比曽)
- 3位 第5部(長泥)

▲選手宣誓をする第2部の赤石澤団員

誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ	親の氏名	行政区
佐藤樹里ちゃん	好樹・綾子	大久保・外内
高橋佑太郎くん	美文・まゆみ	前田・八和木
安齋幸樹ちゃん	正志・静香	大久保・外内
山田至恩くん	敬行・澄恵	福島市

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
菅野 徳 草 野	耶麻郡北塩原村
五十嵐 秀美	耶麻郡北塩原村

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
齋藤 高 男	67	前田・八和木
高橋 正 一	59	上飯樋
高橋 好 子	81	小宮
佐藤 イク	93	伊丹沢(小宮)
川井 芳 夫	83	二枚橋・須萱
佐藤 光 明	74	前田
田中 照 男	56	小宮

ご冥福をお祈り申し上げます

(5月21日から6月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき (平成19年6月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	3215人 (-12人)	3275人
女	3257人 (-2人)	3306人
計	6472人 (-14人)	6581人
世帯数	1734戸 (+3戸)	1739戸

◆◆◆5月1日~31日までの人口動態◆◆◆

転入	8人	転出	14人
出生	3人	死亡	11人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

こしごろうの ぽけつと

クーポン券の効用

昨年からはじめて「いいいたてまで子育てクーポン券」を今年もつい先日交付しました。

これは、子どもさんの多い家庭は、毎月の幼稚園費や学級費、給食費などの養育費が多額になり大変だろから、村でいくらかでも支援しようとしてスタートした事業です。今年も198人の子どもさんに5万円のクーポン券が渡されました。総額で約1000万円になります。

「現金の方が良い」「無料にすれば簡単なのに」との声もありましたが、そうしますと毎年保護者の方との接点はなくなります。

これから人と人との、村民と村との「かわり合い」「ふれあい」「率直な話し合い」が、とても大切になってきます。さらに、この事業は3年や5年で終われるものではありません。現金ですと大方は村外の消費になるのではないのでしょうか。クーポン券ですと、全額村の中で使われます。

クーポン券受領の時「ありがとうございました」「本当に助かります」「大切にに使わせてもらいます」などの若いお父さん、お母さんの声を聞くにつけ「これで良かった」とつくづく思った次第です。

今年の交付式には、飯館中スクー ルカウンセラーの海野先生の講話を加えました。

「子育て」とは、親がわが子へ「おくりもの」を贈り続けることなんです。目に見えないもの(生活習慣、しつけ、人としての優しさ、自分を大切にすること、善悪の判断など)こそが、親からの大切なプレゼントなんですよ...と、とても良い話を聞くことができました。

クーポン券の発行だからこそ、こんな機会が生まれるんですね。手間がかかるかもしれませんが、これがいいって流「までライフ」の考え方だと私は思っています。

平成19年6月26日
飯館村長 菅野 典雄